

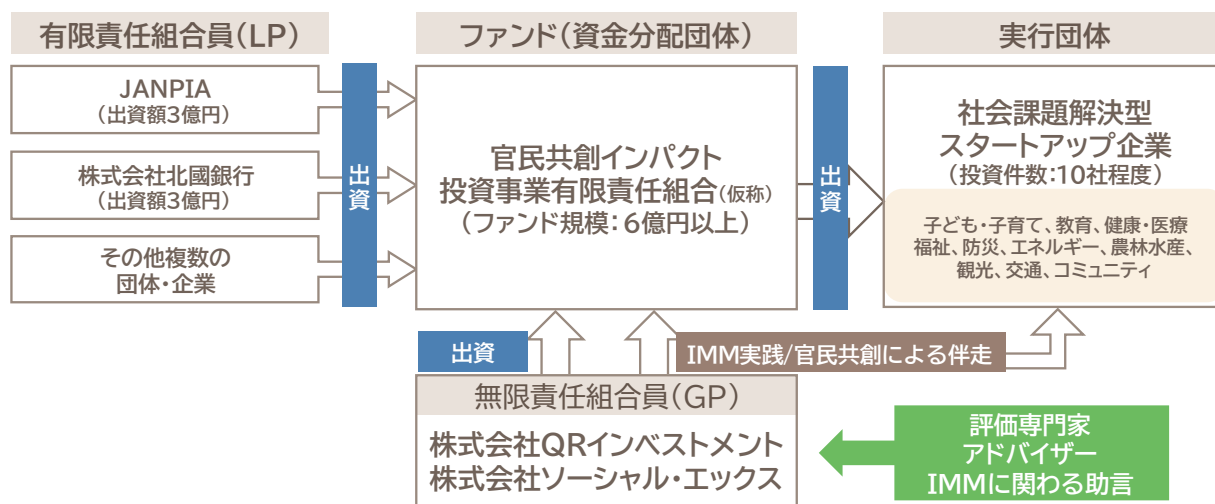
2023 年度 出資事業 資金分配団体の公募 採択団体・事業情報

(全 2 事業、申請団体名五十音順) 2024 年 11 月現在

■選定団体 1

資金分配団体名	官民共創インパクト投資事業有限責任組合（仮称）	
申請団体名	株式会社 QR インベストメント	株式会社ソーシャル・エックス
所在地	石川県金沢市	東京都渋谷区
設立	2021 年 6 月	2021 年 11 月
代表者	浜野 文雄	伊藤 大貴、伊佐治 幸泰
対象とする社会課題	自治体だけでは解決が難しい社会課題を対象とする。具体的には子ども・子育て、教育、健康・医療、福祉、防災、エネルギー、農林水産業・観光・交通・コミュニティなど幅広い分野が含まれる。	
解決のための戦略	スタートアップが自治体と共創することにより、行政施策の狭間にある課題の解決に繋げるとともに、共創人材による伴走支援を通じた事業の成長を図る。	

スキーム図



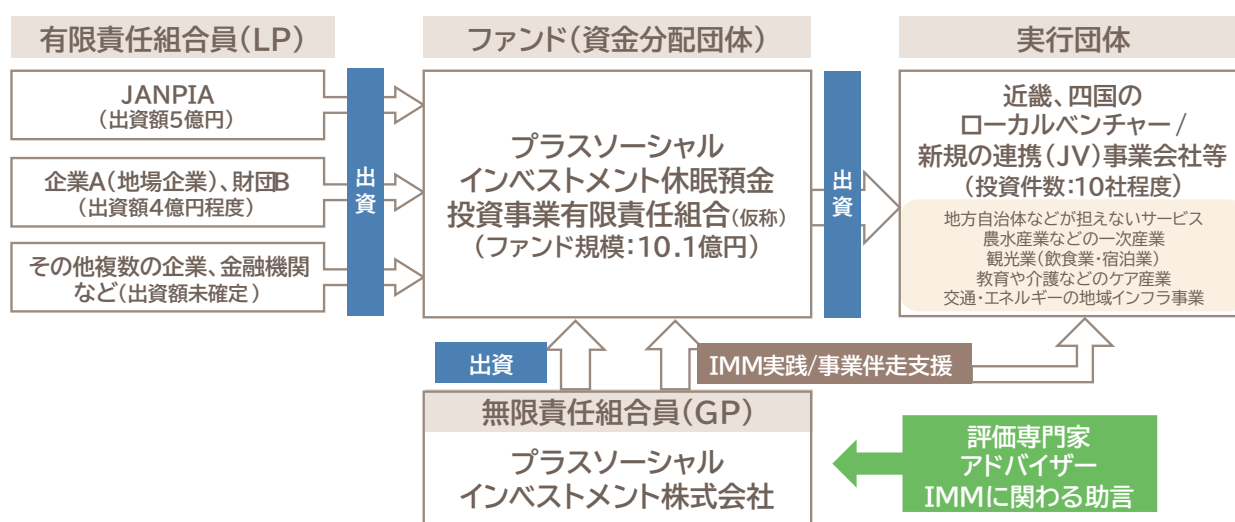
ファンド存続期間	12 年（延長最大 3 年）
出資期間	6 年
出資予定額	1 件当たり 500～5000 万円
投資ステージ	シード～アーリー

※ IMM : インパクト測定・管理 (Impact Measurement and Management)

■選定団体2

資金分配団体名	プラスソーシャルインベストメント休眠預金ファンド（仮称）
申請団体名	プラスソーシャルインベストメント株式会社
所在地	京都府京都市
設立	2016 年 4 月
代表者	野池 雅人
対象とする社会課題	地域の構造的な問題である若者・女性の流出、 それに伴う人口減少や担い手不足等の解決
解決のための戦略	地域の中で長期的に創出を目指す社会的な変化（インパクト）を 「魅力ある地域の産業・事業の創出」と定義。この社会変化の実現 のために重要な5つの領域を設定（スキーム図）。これら領域において、 これまでの地域構造を大胆に変えていくような新規事業、ロー カルベンチャーの誕生をファンドを通じて後押しするとともに、働 く人の負担軽減や多様性が促進されるような環境・仕組みの充実化 を同時に目指す。

スキーム図



ファンド存続期間	10 年（延長最大 2 年）
出資期間	5 年
出資予定額	平均出資額は 1 億円前後
投資ステージ	シード～

※IMM：インパクト測定・管理（Impact Measurement and Management）